



夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより



令和4年度 第2号
編集：NSH推進課
発行責任者：正村泉一

海外に進出している県内企業研修

7月25日(月)、2年人文科学コースと自然科学コースの生徒を対象に「海外に進出している県内企業研修」が行われました。実際に働いている方のお話を聞いたり、施設見学を行ったりすることで、生徒たちは普段教室では勉強できない生の企業活動の一端に触れることができました。

＊ ＊ 人文科学コース ＊ ＊

<午前の部：株式会社PFU>

人事担当の方(ご来校)、ドイツ駐在経験有の方(オンライン)、アメリカ駐在の方(オンライン)及び本校教員によるパネルディスカッションを行いました。

会社の概要や、海外展開状況、事業内容の説明の後、海外勤務や高校生活で大切なことについて、生徒からの質問を中心に様々な話題に関してお話しくださり、大変貴重な機会となりました。プライベートなお話も盛り込んでくださり、より日本とは違う実態を掴むことができました。「実際に英語力はどれくらい必要なのか」「海外勤務に家族の抵抗はあったのか」など質問が絶えず、残念ながらタイムオーバーでしたが、非常に楽しく学びの多い時間となりました。

これからの進路についても参考になる内容がたくさんあり、「学部も大学も決まっていない」という生徒にとっても、今どうするべきなのかヒントを得ることができた研修となりました。

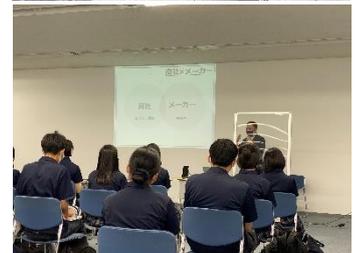


- 感想**
- ・話がとても興味深く、時間があっという間だった。
 - ・将来いつ役に立つかわからないけど、チャンスを掴めるように目の前のことを全力でやっていきたい。
 - ・海外の人は日本人のように遠慮はしないので、海外で働く際は、自分の意志を積極的にはっきり伝えるべきだと分かった。
 - ・英語力というよりも、何とかして伝えようとする積極性が重要だと分かった。

<午後の部：三谷産業株式会社>

会社の概要の説明では、会社の規模や事業の多さに圧倒されるとともに、「商社」とは何か、その存在意義、そして三谷産業の強みである「商社×メーカー」について学び、大企業たる所以を実感しました。また、「B to B(Business to Business)」の取引が主でありながら、私たち(Consumer)と身近にかかわっている企業であるということも実感しました。

講義の途中では、ベトナム勤務の方からオンラインでお話をいただき、なぜベトナムに進出しているのか、ベトナムとの時差を活用した働き方についてなど、午前とは違った視点で海外勤務の実態を知ることができました。最後に「お客様の最善を追求する」という言葉をご紹介いただき、相手の言葉そのままだけを捉えず、「なぜそれを求めるのか」視野を広げて考え、工夫することの大切さを教わりました。



- 感想**
- ・相手の言葉から、求めるものを自分で考え工夫することが、社会に出るとのことだと分かった。
 - ・新しいことに取り組もうとする姿勢が素直にかっこいいと思った。
 - ・海外に進出するのは、単純に市場が広がるだけでなく、「ベトナムは成長著しく人柄は真面目でよく働く」という、国の文化や人々の特徴を捉えてそこに進出するという戦略に驚いた。
 - ・身近なモノが、誰が仕入れた部品で、どこで作られているか少し気にかけてみようと思った。

＊ ＊ 自然科学コース ＊ ＊

自然科学コースでは、2グループに分かれ、津田駒工業(株)、(株)金沢村田製作所、中村留精密工業(株)を訪問しました。どの企業も世界に誇る高い技術力をもっており、石川県からグローバルに事業を展開しています。社員の方の自社に対する誇りも伝わってきました。また、一口に工場といっても、その製品の特性により雰囲気が大きく異なる様子も感じ取りました。

<A 隊午前の部：津田駒工業>

会社概要や製品説明を伺った後、ショールームにて「織機」を見学しました。1秒に最大で30本(!)の横糸を、空気または水を利用して縦糸に通すというだけあり、動作は非常に高速かつ音は大きく、迫りに圧倒されました。また、工場見学では、織機の製造の様子を見学しました。製品を裁断する際に使用するグリースの匂いや、カーボンを含んだ素材を扱うことから煤っぽい色が付着した現場は、まさにイメージ通りの「工場」という感じでした。また、製品ではなく人のための全館冷暖房が実施されており(珍しいそうです)、社員がとても大切にされていることが分かりました。



- 感想**
- ・より良い生産、品質のために日々研究し、技術を発展させている点が客や取引先のことを第一に考えており、すごいと思った。
 - ・世界初の歯車を開発しそれを世界シェアナンバーワンまで成果を出していることはなかなか他の企業では見られないし、とても凄い現場をみてびっくりしました。
 - ・世界シェアの上位を独占する秘訣は、常に新しいモノ、時代の変化に伴う求められているものについて鋭敏になって、今やるべきことを全力ですること。

<A 隊午後、B 隊午前の部：金沢村田製作所>

スマートフォンなどの中にある、特定の周波数を送受信するための SAW フィルタをメインに製造している会社で、非常に微細なものを細心の注意をもって製造している様子を見学しました。クリーンルームでは、ほこりの数の上限が定められており、社員の方も常日頃清潔をもち、出勤されているとのこと(!)。また、説明員の方とのやり取りでは、学校で学んだ物理・化学の知識の一部も活用しながら製品が作られているのが分かりました。桜丘 OBOGとの懇談では、どう高校生活を過ごしたか・どの時期に職業を決めたかなど、実体験をたくさんきかせていただきました。



- 感想**
- ・数年後の未来を想像し、それに間に合うように新しい技術を生み出す技術者がいるから機械は進化していくのだと分かった。
 - ・自分達が使っている iPhone に多くの村田の製品が入っていることに驚いた。
 - ・懇談会でどの分野からでも活躍出来ると聞いて、学部にこだわり過ぎないこともポイントだなと思った。
 - ・石川県の企業であれほど色んなところで使われているものを作る場所があるのに驚いた。

<B 隊午後：中村留精密工業(株)>



会社概要や製品説明、海外との関わりについて学んだ後、展示室および工場見学を行いました。展示室では自社製品である工作機械を使用して作られた製品(航空機や自動車の部品・医療関係の製品)を見学し、目に見えないところで、多くの努力が私たちの生活を支えていることを実感しました。また、複合加工機は1台の機械で数種類の加工を可能にした製品で、完成品の精度の向上・作業への負担減を実現させたそうです。さらに、建物の断熱性を高め、正確な温度管理を実施することで、金属の膨張・収縮を防いでいることを学びました。桜丘OBOGとの座談会では、ドイツ勤務の経験をお持ちの方などから、様々な経験談などをきかせていただきました。赴任先では仕事はもちろんのこと、プライベートでもその国を楽しむと、充実した毎日を送れるようです。世界に羽ばたけ、桜高生!

- 感想**
- ・海外規模の仕事の面白みが分かった。
 - ・職人にしかできない手作業のものがあって凄いなと思った。
 - ・工業の会社だけど海外で働くことがあるので英語の勉強が必要だとわかった、英語も頑張りたい。コミュニケーションはどんな職業でも大切だと分かった。
 - ・精密さがどれほど大切でどれほど難しいかを知ることが出来た。
 - ・数人、数十人の力ではなく、企業全体が一体となって初めて成り立っていると分かった。
 - ・最先端の技術がこんなにも身近に生み出されていたのだと気づいた。